

2014年 IFCAの進展とインパクト

I. ユース・プロジェクト

2013年から開始したIFCAのユースプロジェクトでは、様々な理由で生みの親とともに暮らせず、施設や里親家庭で育った若者たち12名で、日米ユースチームを結成している。今年も継続して活動し、発展を見せることができた。

1) 東京ユースは、子どもの権利についてのイベントを開催

2014年4月20日、日本財団ビルにて「子どもの権利って？□日米のフォスターユースと考える□」を実施。東京ユースが発表をし、専門家とディスカッションを交わした。児童福祉関係者らが参加。シアトルユースは人権についてのビデオを制作し、イベント内で上映した。

2) 6月、東京ユースが渡米

5名の東京ユースが約10日間の渡米視察を実施。5つのユース向け機関を視察し、学んだ。初の「日米ユースサミット in シアトル」を開催、また、『ストラテジック・シェアリング』のワークショップも実施した。終盤には、山荘で合宿をし、自分たちのミッションを作り上げた。

3) 9月、シアトルユースが来日

シアトルユース4名は、児童養護施設や乳児院、児童自立支援施設を含む、4都市8機関をまわった。厚労省での記者会見、2つのユースサミットの実施、ISPCAN子ども虐待防止世界大会への参加をした。加えて、里親や施設職員、議員、研究者らと交流もおこなった。彼らのエッセイや、渡航の感想文からは、彼らの個人的なめざましい成長が感じられた。また、プロジェクトを通じ、両国のフォスターユースたちの関係を近づけることができた。彼らは今後も「ユースたちがグローバルに児童福祉を変革する」という自分たちのミッションに向かって進んでいく。

II. ケアギバー・プロジェクト

2013年に結成されたモッキンバードファミリー・モデル・ジャパン (MFM-J) という勉強会との連携を続けている。それを通じて、モッキンバード・ファミリー・モデル (MFM) に関する英語のマニュアルが翻訳された。

その後はモッキンバード・ファミリー・モデルのパイロットプロジェクトを日本で実施するための委員会の設立に向けて活動している。

III. プロフェッショナル・プロジェクト

白川美也子氏 (IFCA 臨床ディレクター) とモニカ・フィッツジェラルド氏 (コロラド大学ケンペセンター) は9月、日米ユースメンバーとともに、ISPCAN子ども虐待防止世界大会名古屋にてワークショップをおこなった。ユースのメンタルヘルスの必要性について訴えた発表は好評を博した。

また、フィッツジェラルド氏は同月に3日間にわたる TF-CBT (トラウマ・フォーカスト認知行動療法) ワークショップを43人の臨床心理士や児童精神科医に向けて実施。受講者の中には、日頃から児童相談所などでフォスターケアの子どもを診ている者も多かった。

受講者たちは、フィッツジェラルド氏によるオンラインでのコンサルテーションを受け始めている。

数字で見る 2012□ 2014 のインパクト

<米国>

	2012	2013	2014	Total
イベントと講義の参加者・観客数		40 (来日プロジェクト報告階) 40 (ワシントン州立大学自社会福祉コースでの講義)	15 (日米ユースサミット in シアトル) 10 (モッキンバード・ユースネットワーク円卓会議) 15 (パッション・ツアー・アクション 会議)	120
メーリングリスト参加数	25	45	70	140

パートナーシップ:

University of Colorado/Kempe Center
FosterClub

Casey Family Programs
UW Champions Program
Mockingbird Society
Foster Care Alumni of America
Doncel
Passion to Action

スポンサーシップ:

Japan Foundation Center for Global Partnership

<日本>

	2012	2013	2014	Total
イベントと講義の参加者・観客数	120 (TF-CBT ワークショップ)	170 (IFCO Youth ワークショップ) 120 (IFCO MFM ワークショップ) 1500 (IFCO Youth シンポジウム) 60 (TF-CBT 公開コンサルテーション)	40 (日本財団 シンポジウム) 30 (渡米報告会) 70 (日本女子大学 講義) 60 (日米ユースサミット in 東京) 20 (日米ユースサミット in 大阪) 10 (Strategic Sharing ワーク) 40 (ISPCAN ワークショップ) 100 (ISPCAN Youth Forum) 40 (TF-CBT ワークショップ) 30 (SOS 子どもの村 イベント)	2410
Networking	30	60	290	380

パートナーシップ:

日本女子大学 静岡大学 ふじ虹の会 SOS 子どもの村 JAPAN Human Rights Watch

スポンサーシップ:

公益財団法人日本財団 マッシーナメッシーナ 読売光と愛の事業団 つなぐいのち基金

収支報告

IFCA 米国本部2014年度

項目	金額 (米国ドル)
2013年からの繰り越し金 (収入として計算する)	531.46
助成金	10000.00
雑収入	741.99
受取寄付金	17690.00
事業収益	440.00
団体運営費総額	7971.56
事業支出 (渡米/来日/TF-CBT WS プロジェクト)	30515.78
日本へ送金 (事業支出として計算する)	4400.00
日本からの送金 (収入として計算する)	10885.15
収入と支出の差額 (残高)	801.26

日本支部2014年度

項目	金額 (日本円)
2013年からの繰り越し金 (収入として計算する)	348208
助成金	1050000
雑収入	1436
受取寄付金	870673
※事業収益	2738067
団体運営費総額 (人件費を含む)	1359703
事業支出 (渡米/来日/TF-CBT WS プロジェクト)	2670095
米国からの送金 (収入として計算する)	457024
米国への送金 (支出として計算する)	1327475
収入と支出の差額 (残高)	108135



International Foster Care Alliance

6542 4th Ave NW, Seattle, Washington 98117

Phone: (206) 612-3732 Email: info@ifcaseattle.org